

産業保健

こうちさんぽ ニュース

☆ トピックス	1頁
☆ 研修会・セミナー等のご案内（平成24年1月～2月開催分）	2頁
☆ 労働衛生工学シリーズ（田内相談員）	3頁
☆ メンタルヘルス対策支援センターだより（厚生労働省委託事業）	4頁
☆ 産業保健に関する相談のご案内	4頁
☆ 産業保健研修会等受講申込書	6頁

皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。
旧年中は、当高知産業保健推進センターの産業保健事業の運営に当たりましては、多大なるご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。
本年も昨年同様ご指導・ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

独立行政法人労働者健康福祉機構

高知産業保健推進センター



トピックス その1

「平成23年度高知県産業安全衛生大会における表彰式について」

平成23年10月4日（火）、高知県立ふくし交流プラザにおいて、高知県産業安全衛生大会が開催されました。長年の功績が評価され、須崎地域産業保健センター長（田村精平先生）が高知労働局長賞（安全衛生推進賞）を、また、当センター相談員（森木光司先生）・前中村地域産業保健センターコーディネーター（松田卯萬治氏）が高知労働局長感謝状を受賞されました。3名の皆様、おめでとうございます。



トピックス その2

「事業者のための南海地震対策セミナー」開催

平成23年10月24日（月）、高知県立県民文化ホールグリーンホールにおいて、高知労働基準監督署・高知労働基準協会と共催にて、職場の南海地震対策を見直す契機にしてみらおうと、上記セミナーを開催しました。医療、建設、製造などの幅広い業種の約250社から事業主や労務管理担当者ら約480名が参加し、専門家ら3人の講演に耳を傾けました。また、当日のテレビ及び翌日の新聞等で掲載されました。



トピックス その3

「職場の腰痛対策・メンタルヘルス対策の進め方」の研修会を本山地区で開催

平成23年11月1日（火）、本山町プラチナセンターにおいて、高知労働基準監督署と共催にて上記研修会を行いました。参加者からは、山間地域に勤務していて、多くの研修を受けたいとおもうのですが、高知市内へ行くのは遠くなるため、研修を受ける事があまり出来ない、本日のような研修を多く開催していただくと、今以上の研修が受けられるのでこのような機会を多くしてほしいなどのご意見をいただきました。

二 研修会・セミナー等のご案内（平成24年1～2月開催分）

産業保健スタッフや事業主・従業員などどなたでも参加できます。

対象者（A：産業医 B：産業看護職 C：衛生管理者・その他）

- (1) 1月12日(木) 14時00～15時30
「健診結果を生かすために～職場の健康管理～」
【講師】保健指導担当相談員 五十嵐 恵子 氏
【対象者】B・C 【定員】30人
【場所】高知フコク生命ビル8階会議室
- (2) 1月19日(木) 14時00～16時00
「自殺予防とメンタルヘルス対策」
【講師】メンタルヘルス担当相談員 山崎 正雄 氏
【対象者】A・B・C 【定員】30人 【取得単位】生涯専門2単位
【場所】高知フコク生命ビル8階会議室
- (3) 1月28日(土) 14時00～16時00
「ストップ アルコール依存症」 【共催】高知県産業保健研究会
【講師】日本赤十字広島看護大学看護学部助教 磯野 洋一 氏
【対象者】B・C
【場所】高知県立県民文化ホール第6多目的室
- (4) 2月 4日(土) 14時00～16時00
「睡眠時無呼吸症候群の診断と治療の実際」
【講師】メンタルヘルス担当相談員 川田 誠一 氏
【対象者】A 【定員】20人 【取得単位】生涯実地2単位
【場所】高知鏡川病院睡眠医療センター
- (5) 2月 8日(水) 14時00～16時00
「職場メンタルヘルス交流会」 【共催】高知障害者職業センター
【講師】メンタルヘルス担当相談員
【対象者】B・C 【定員】15名
【場所】高知フコク生命ビル8階会議室

☆ 研修会・セミナーお申込は

6ページ産業保健研修会等受講申込書でお願いします。

申込書に記載いただいた個人情報は、メールマガジンの配信、アンケート調査、各種お知らせ等に利用させていただき、当センターが実施する産業保健推進に関すること以外には使用いたしません。

職場の「備え」としてのリスク管理

(社)日本労働安全衛生コンサルタント会高知支部
支部長 田内 孝也

健全に企業を存続させるには、そこで働く人々の安全と健康の確保が大前提であり、常にそれを脅かす事象への備えが必要である。特に、3.11 東日本大震災以降、「備え」に対する意識の高まりを実感する。一方、職場での日常業務に於ける事故、災害に対する備えはと言うと、必ずしも万全とは感じない。例えば、熟練労働者は根拠の無い感に頼り、経験を過信する。新規の者は知識の無さと技能の未熟を「~だろう」に任せる。更に管理者は昨日の続きの安穩を想定する。これは正に「人災」であり、人のエラーとして済まされるものではない。従って、備えを万全にと望むなら、日常業務でリスク管理を怠ってはならない。

ヒューマンエラーが全て「人災」と言う訳ではないが、放置すれば必ずエスカレートする。ルール違反、不法行為等も同様に、放っておくとそのまま職場の常識として広く受け入れられることになる。恐ろしい状況だ。「黙っていれば、分からない」「見つからなければ、構わない」「ちょっとだから、許される」も同じようなものだ。「近道」「省略」を漫然と行う自分自身を、利益の為に、生産性の為にと身勝手な持論で正当化し、自らに言い聞かせ、自らを説得するような軽率な行為は、少なくとも職場では謹んで欲しい。

近年、職場第一線に於ける現場力の衰退が嘆かれる。高度成長の時代、あらゆる生産の場では事故・災害を防止することに邁進した。そして事故・災害の無い安定操業を目指した。その過程では、幾多の困難、犠牲を払い、労働者が体験の下、事故・災害を防止する術を身に付けた。これも一つの現場力である。

残念ながら、安定操業の下では、前述のような事故・災害の発生による体験型の現場力を身につけることは難しく、これも現場力低下に至る所以である。また、人の力には衰えが有るということを知っておくことも必要だ。視力、聴力、体力は限界もあれば、加齢と共に低下もする。現場力も同様に人が発揮する力であることを知り、リスク管理の必要性がある。

また、現場力は、事故・災害の発生で学ぶものでも無い。専ら日常の安全管理業務を進める中で技術・技能として身に付けることが本来の姿であり「これからの安全・衛生管理」を定着させるには特に大事なことである。

今、職場に於ける労働安全・衛生業務は再発防止型から、「先取り型」のいわゆる「これからの安全・衛生管理」へ早急なシフトが必要である。しかし、その中枢にあるリスクアセスメントの普及、促進が芳しく無い。

リスクアセスメントの実践は、職場に潜むリスクの顕在化と危険度ランクに応じた措置の優先度を合理的に決定し、労働者はその活動に参画することで危険に対する感受性を高め、日常業務でのリスクを知り、更に、職場で自分達が実施しなければならないことを認識する。これが1つの現場力の醸成であり、その過程は、力の衰えに対する手当としての効果も期待できる。

リスクアセスメントは労働災害防止措置を論理的に導き出す手法であり、その過程は教育・訓練の場として捉えるなら、労働者のスキルアップに欠かせない。更にリスク評価とその管理を労働災害の発生要因にこだわらず、顧客、サービスの提供、薬品、化学物質の取扱い等、事業活動全般にその対象を広げることにより、リスク管理が事業活動に於ける「備え」としての効果も存分に発揮してくれることだろう。

四 〃 メンタルヘルス対策支援センターだより（厚生労働省委託事業）

働く人の健康を支援するため、「メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談機関による相談促進事業」が平成20年度からスタートしました。当センター内に「メンタルヘルス対策支援センター」を開設し、「メンタルヘルス対策促進員」が皆様の職場をお訪ねします。

この事業は、メンタルヘルス対策への助言、相談機関の利用促進、職場でのメンタルヘルスケア向上を目的としています。従業員の心の健康対策への取り組み方法が分からないという経営トップのみなさま、メンタルヘルス対策支援センター・メンタルヘルス対策促進員をご利用ください。

下記の【お問い合わせ先】のTEL・FAX及びEメールは、メンタルヘルス対策支援センター専用番号です。お気軽にお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

メンタルヘルス対策支援センター（高知産業保健推進センター内）

〒780-0870 高知市本町4丁目1番8号 高知フコク生命ビル7階

TEL・FAX : 088-855-3061

Eメール : mental@kochisanpo.jp

五 〃 産業保健に関する相談のご案内

各分野の専門の相談員が、産業保健に関するご相談・お問い合わせ等について応じます。相談方法は、センターに直接来ていただくか、又は電話、FAX、メールでも対応しています。また、相談内容等により必要と判断する時は、直接現地に出向き具体的な対処法等をご提案します。

下記「産業保健相談員勤務表」に記載はありませんが、労働衛生関係法令分野のご相談についても応じます。

なお、相談料は無料となっていますのでお気軽にご相談ください。

【実地相談事例】

質問：現在、本社ビル横（屋外）に喫煙コーナーを設けているが、今後コーナーを増やしたいのでその適否について。

回答：屋外の喫煙コーナーの横の窓はあけると煙やにおいが流れ込んでくるので、もしあけるとすれば換気扇を設置して流入を防ぐこと。

産業保健相談員勤務表

平成24年1月1日現在

	月	火	水	木	金
第一	小松 (メンタルヘルス)		榎本 (メンタルヘルス)		影山 (メンタルヘルス)
第二	小松 (メンタルヘルス)		下寺(注1) (メンタルヘルス)		町田 (産業医学) 影山 (メンタルヘルス)
第三		森木 (産業医学)	榎本 (メンタルヘルス)	門田 (労働衛生工学)	伊藤 (メンタルヘルス)
第四	影山 (メンタルヘルス)	菅沼 (産業医学)	影山 (メンタルヘルス)		小澤 (保健指導)

※ 相談時間は、13:00~17:00です。(注1)については9:00~12:00です。

独立行政法人労働者健康福祉機構 高知産業保健推進センター
〒780-0870

高知市本町4丁目1-8 高知フコク生命ビル7階

TEL : 088-826-6155

FAX : 088-826-6151

ホームページ : <http://www.kochisanpo.jp/>

Eメール : info@kochisanpo.jp